

使用済みプラスチック系緩衝材の減容/減量/再製品化のための減容機の導入

ゼネラルサプライ株式会社

事業目的	減容機の導入により、産業廃棄物（廃プラスチック・サーマルリサイクル）として処分していたプラ系緩衝材及びプラ系廃棄物を、インゴット化により減容化及び再製品化等を目的とする。
事業概要	減容機の導入 プラ系廃棄物のインゴット化 ：減容及び減容による運搬関連の CO2 排出量削減 インゴット品の有価化による再製品化（或いは廃棄物処理） ：プラ系緩衝材としての再製品化
事業結果	1. 産業廃棄物の排出量 事業前 2022 年（2022/4/1-2023/3/31）：30.56 t 事業後 2023 年（2023/4/1-2024/3/31）：26.49 t 2. 少量試作レベルで再製品化（プチプチ及びポリ袋） 3. 廃棄インゴットが、県外でのサーマル処理
今後の課題と方針	1. プチプチ系の分別/保管/運搬及び減容機の品種替えの手間暇 2. 廃棄インゴットの有価化検討 3. 廃棄インゴットの近隣での委託先調査 4. 廃棄インゴットのリサイクル方法（マテリアル或いはケミカル）の調査（サーマルからの変更）